

超 我 の 奉 仕
SERVICE ABOVE SELF

IBARAKI ROTARY

Club Weekly Bulletin

RI第2660地区 茨木ロータリークラブ 創立 昭和34年(1959年)12月23日



事務局 大阪府茨木市上中条一丁目9-20 茨木商工会議所 TEL (072) 622-2255 〒567-0881
 例 会 毎水曜日12時30分 ホテル日航茨木大阪 茨木市中穂積一丁目1-10 TEL (072) 620-2121
 会 長/秋山 勤 幹 事/松尾康弘 会報委員長/橋谷建郎
 委 員/野田.倉内

姉妹クラブ: 台 北 西 北 区 扶 輪 社
 双子クラブ: インドネシア・チネレRC・ジョグジャカルタRC

No.36 平成18年 4月19日

本 日 の 卓 話

4月 19日 (水)

「15分間スピーチ」 簡 仁一会員
 「新入会員自己紹介」 多田節子会員

出席報告

第2279回例会			前々回(第2277回)		
会員数(免除)	出席	欠席	出席率	欠席	補正出席率
32 (8)	14	10	58.33 %	4	83.33 %

例会記録

第2279回例会 4月12日(水)雨
 ロータリーソング「茨木ロータリークラブの歌」斉唱
 ゲスト・スピーカーご紹介
 松中修身様(ロータリーの友地区委員)

4月会員誕生 久保、簡、山道、岡野
 4月結婚記念 坂井、松尾、倉内、岡野
 4月入会記念 松尾

会長の時間

秋山 勤会長

松中様、お忙しい中を卓話のために、お越しいただき有難うございます。よろしくご指導の程お願いいたします。

先週は、素晴らしい家族親睦会が、桜満開の京都で出来ました。大勢参加いただき有難うございました。

4月は雑誌月間です。ロータリーの文献や資料は数多くありますが、中で最も身近にあるのが「ロータリーの友」や「ガバナー月信」です。毎月、基本的なロータリーの理念や情報、具体的な活動の様子等が掲載されています。これらをよく読めば、ロータリーに関する知識は容易に得られるようになっていきます。

「ロータリーの友」は全員が購読していますが、「ガ



雑誌委員会 卓話者紹介

バナー月信」は全員に行き渡っていないので、ガバナーの巻頭言だけをコピーして、毎月全員に配布しています。よくお眼通しください。

今年度の地区方針の一つに「クラブの充実」 魅力あるクラブ作りがあり、各クラブで取り組むことを要請されています。クラブの充実は、例会を充実させることにほかなりません

日本に最初のロータリークラブを創設した米山梅吉氏が「ロータリーの例会は、ロータリアンにとっての道場である」と言っておられます。例会だけでなく、ロータリーそのものが人生の道場です。ロータリーは人生の生き方の基本を教えてくれるところです。

例会を通じて、様々な優れた人に出逢い人生を学ぶことや、様々な活動に参加して人生を豊かに彩ることも可能です。

ロータリーをもっともっと知ることによって、ロータリーを楽しみましょう。

幹事報告

松尾康弘幹事

1、RI及び2660地区連絡事項

- 1) ロータリー・ワールド
- 2) 米山梅吉記念館「館報」
- 3) 第16回JGFR北海道大会の案内
6/19(月) 於: 苫小牧GC

2、茨木市、他RCよりの依頼事項

- 1) 台北西北RC、千里RCより会報
- 2) 高槻RCより50周年記念事業の講演並びに
対談の案内 5/13(土)
於: 高槻現代劇場中ホール 講演: 金美齡氏

3、その他

朱会員事業所名称変更 北大阪警察病院 (旧大阪第二警察病院) 久保会員携帯番号変更 090-3973-7666

委員会報告

ゴルフ同講会

倉内貞敏会員

4月23日(日)のゴルフコンペで2名の欠員が出ましたので、ご参加いただける方はお申し出ください。

規定情報委員会

長澤利治委員長

「第2回情報集会の案内」

日時: 4月19日(水)午後6時30分~
場所: ホテル日航茨木大阪 1F「桃李」
会費: 3,000円

卓話

「雑誌月間に寄せて」

ロータリーの友地区委員 松中修身氏

今月は「雑誌月間」であります。折角与えられた機会ですので、立場上「雑誌月間に寄せて」私が思っておりますこと、感じておりますことを、話してみたいと思います。

この4月を「雑誌月間」と位置付けて、全ロータリアンに呼びかけますのは、皆さん方は一人の例外も無く年会費のご負担とともに、「ロータリーの友」誌の購読義務者であるからであります。因みに皆さん、私が掲げますこの「ロータリーの友」誌の定価は如何ほどかご存知でしょうか?お手元の雑

誌を確認してみてください・・・(45P右下段)定価は消費税込みで210円であります。これが高いか安いかは別として、つまり、皆さんの年会費には、この雑誌代金の一年分が含まれているのであります。表現を変えて申しますと、皆さんは「購読義務者」であります。これはロータリー活動のための組織の維持と、目的実現のために「会費の納入」「例会への出席」「機関紙購読」の三大義務として課せられているのであります。従って今月の「雑誌月間」は、会員がこの義務を自覚するための施策として、他の強調月間に先駆けて最初に設置されました。

〔クラブ定款第13条 ロータリーの雑誌 第1節 購読指定として、会員は会員身分を保持する限りにおいては、RIの機関紙である「The Rotarian」または『ロータリーの友』を購読しなければならない〕

機関紙としての『友』の機能は、この雑誌がロータリー活動の原点座標の位置を示し、過去と現在と未来を指し示す羅針盤であり、ロータリーの正当な辞書の役割を担う公式地域雑誌だということでもあります。『友』誌はロータリーの情報を報知、つまり紹介して、各クラブにおける実践の参考に資することが使命であります。

そのために編集方針は、公式地域雑誌としての制約を帯びることになります。例えば、RI指定記事(2P contents 参照)は必ず載せなければなりません。全ページの50%以上はロータリー記事としなければなりませんし、品位のある格調の高い内容とすることが求められております。

4月号の『友』誌をご覧になって頂きますと、横書きページは、ロータリー本来の情報が沢山あります。縦書きページは同人雑誌的な体裁で、スピーチや人物像の紹介や俳句など、それにクラブやロータリアン個人の活動が掲載され編集されています。

これは「横組みに学び縦組みに参画」ということをロータリアンに示唆しています。論語に「学んで思わざれば即ちくらし、思うて学ばざれば即ち殆し(あやうし)」という、孔子自身の言葉がありますように、「教わるばかりで、自分で考えようとしなければ、知識は身につかないし、自分ひとりで思い込んでいるだけで教えを仰がないと、独善的になる危険がある」という意味に用いられます

実は『ロータリーの友』誌は、その辺の事情にも配慮して、全国のロータリアンの要望に応えるかのように、正にロータリーについて学ぶ時にも大切なことを可能な限り網羅して掲載するように努力しています。



一方、ロータリアンとの距離を急速に近いものとしている「縦組みのページ」に、ここ数年の傾向として予想外に沢山の原稿が、全国から寄せられるようになりました。例えば俳句、短歌、川柳のコーナー（14P）の平均投稿数は毎月、俳句が100～120通、川柳が80～100通、短歌が4～50通の応募があります。有名な選者達には大変なご苦勞をお掛けするほど嬉しい傾向です。

中にはこんな事例がありました。2660地区IM5組のインターシティ・ミーティングで、大阪梅田東RCが「ニート問題」を取り上げまして話題となりました。

私は『友』誌・地区委員として、主催者に原稿と写真を『投稿条件』を提示して依頼しました。提出期限ギリギリでしたが、届きました原稿は一冊の本を出版するかと思うほどの字数と写真枚数でした。丁度、この時期、編集局には、IMの原稿が全国から続々と寄せられまして、どれを編集会議で採用してもらうかは大変な苦勞です。お蔭様で上手く編集処理が出来まして採用が決定しました。

こうして身近な記事が5月号に掲載されますので、皆さん是非、お読みいただきたいと思います。そうすれば次々と発見があります。色んなページにわれわれの身近な記事が相当数あることを発見されるでしょう。その瞬間から『ロータリーの友』誌は、皆さんにとって身近な存在となると思います。

併せて、今日、同じように配布されました「ガバナー月信」4月号も是非お読みください。それぞれのページには身近で関わりのある多くのロータリー情報が満載されています。特に地区の現況や神崎GVのご活躍がおわかりいただけたと思います。

『ロータリーの友』誌は50周年を迎えました。『ロータリーの友』誌CONTENTSをご覧ください。ページの最上段にVo1.54 No.4と数字が表示されています。この数字は、『友』誌・創立54周年と4月号であることを表しており、日本ロータリーの苦難と栄光の歴史とともに、『友』誌が歩んできた苦

勞の数字でもあります。その草創期（1953/1）において、広い意味でロータリー・インフォメーションの普及を、その目的として発刊された『友』誌は、当時、RIによって日本を2分割された第61地区と第62地区との、連帯と意思疎通をはかる意図をもって、創刊されたのであります。

爾来、35地区に拡大された今日のロータリー地区において、『友』誌はその共通基盤と壮大な奉仕活動の羅針盤となっております。また、RIとの架け橋ともなり、地区毎の連帯を図り、各クラブとロータリアン一人ひとりの『場』を提供し、総体として、オピニオン・リーダーとしての役割を果たしてきたのであります。

更に付け加えることが有るとすると、『友』誌は歴代ガバナーの思想・哲学を述べ伝え、今日の日本ロータリーを索引するガバナーの思いや願いを代弁しているのであります。

ロータリアンの皆様には、会員歴の「長」「短」の如何を問わず、「RI指定記事」「基本の樹」「特集・ロータリー月間」「言いたい聞きたい」「友愛の広場」、それに「風紋」や「ロータリー・アット・ワーク」等をお読み戴きたいと思えます。ここには、常に新しい未知の領域が広がっています。共感すべきロータリアンの息遣いが伝わって来ます。こうして私たちは、自らロータリアンであることを検証するためにも、『友』誌から多大な影響を得るためにも、ページを開くという行動が求められます。それはロータリアンである限り、誰もが『友』誌から示唆を受ける可能性が有ると思うからであります。

最後に「ロータリー雑誌月間」に当たり、『ロータリーの友』誌が刊行する英語版「ロータリーの友」誌、ホームページのwww.rotary-no-tomo.jpにも、美しい写真とともに素晴らしい記事が満載しておりますことを申し添え致します。

ニコニコ箱

結婚記念	松尾、坂井
雑誌月間に因んで卓話に参上致しました。	
どうぞよろしくお願ひ申し上げます	松中
松中様卓話ありがとうございました	秋山
欠席して迷惑を掛けました	日野岡
松中様卓話ありがとうございました	掛谷
松中様卓話ありがとうございます	大森
風邪をこじらせ肺炎で4月2日から河原崎先生に	

ご厄介になっていました。先生大変お世話になり
まして、おかげで元気になりました 大森
4月8日観桜会欠席お詫び 大森
観桜会の写真を頂いて 秋山、橋本(秀)
久保、松尾、中西、野田、朱、多田、高島、辰己

本日計 45,000円

累計 1,629,046円

次回卓話

「学校教育と地域社会」

倉内貞敏会員